



徳島県内経済概況



平成28年7月

財務省
徳島財務事務所

目 次

総括判断	1
個人消費	2
生産活動	4
雇用情勢	5
設備投資	6
公共事業	6
住宅建設	7
企業倒産	8
消費者物価	8
県内地域経済に関する生の声	9

【利用上の注意等】

※資料の計数等については、一部速報値のものも含まれます。

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があります。

総括判断

県内経済は、緩やかな回復の動きに足踏みがみられる

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続き、また、各種政策効果に支えられ、景気が回復していくことが期待される。

ただし、中国等海外経済の動向や為替市場の変動など、景気を下押しするリスクに注視する必要がある。

項目	前回(28年4月判断)	前回比較	今回(28年7月判断)	総括判断の要点
総括判断	緩やかな回復の動きに足踏みがみられる		緩やかな回復の動きに足踏みがみられる	生産活動は、食料品・飲料・飼料は持ち直しているほか、化学や電気機械に持ち直しの動きがみられるなど、全体では緩やかに持ち直しつつある。また、雇用情勢も、緩やかに改善している。一方で、個人消費は、乗用車販売が前年並みとなっているほか、百貨店・スーパーにおいて飲食料品が堅調であるものの、衣料品、身の回り品、高額品等の動きが弱いことから、全体では緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられる。

項目	前回(28年4月判断)	前回比較	今回(28年7月判断)
個人消費	緩やかに持ち直している		緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられる
生産活動	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる		緩やかに持ち直しつつある
雇用情勢	緩やかに改善している		緩やかに改善している

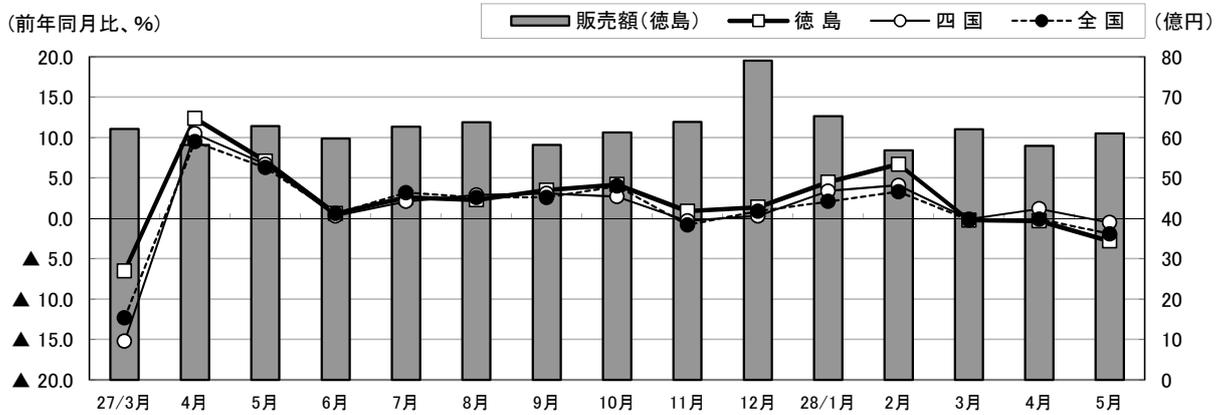
設備投資	27年度は前年度を上回る見込み		28年度は前年度を下回る見通し
公共事業	前年度を下回っている		前年度を上回っている
住宅建設	前年を下回っている		前年を上回っている

(注)28年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費 緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられる

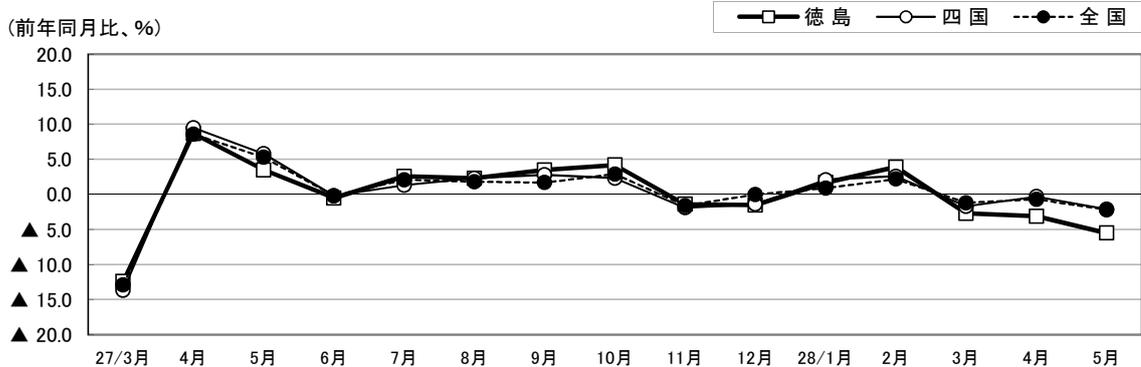
(1) 百貨店・スーパーは、催事効果や気温の上昇に伴ってビール等の飲料や惣菜など飲食料品が堅調であるものの、ファッション衣料を中心とした衣料品が不調であるほか、身の回り品や高額品の動きにも弱さがみられることから、全体として弱含んでいる。

★ 百貨店・スーパー販売額（全店ベース）



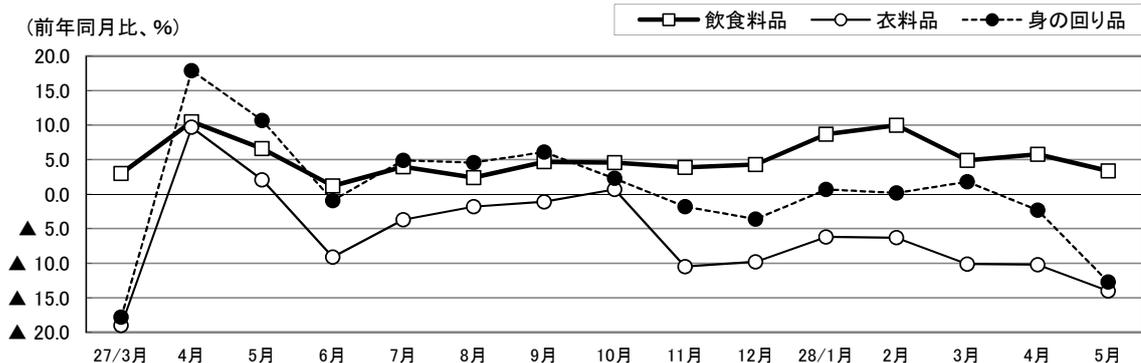
	27/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	▲ 6.5	12.4	7.1	0.6	2.6	2.3	3.5	4.2	0.9	1.4	4.5	6.7	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 2.8
四国	▲ 15.2	10.5	6.7	0.3	2.1	2.9	3.1	2.7	▲ 0.3	0.3	3.4	4.1	▲ 0.1	1.2	▲ 0.5
全国	▲ 12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	▲ 0.8	0.9	2.1	3.3	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 1.9
販売額(徳島)	62.2	58.2	62.9	59.8	62.7	63.8	58.2	61.3	63.9	79.1	65.3	56.9	62.1	58.0	61.1
店舗数(徳島)	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	27	27	27

★ 百貨店・スーパー販売額（既存店ベース）



	27/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	▲ 12.4	8.7	3.5	▲ 0.5	2.6	2.3	3.5	4.2	▲ 1.4	▲ 1.5	1.7	3.9	▲ 2.7	▲ 3.1	▲ 5.5
四国	▲ 13.7	9.5	5.8	▲ 0.2	1.3	2.3	2.8	2.3	▲ 1.9	▲ 1.4	2.1	2.6	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 2.1
全国	▲ 12.9	8.6	5.3	▲ 0.2	2.1	1.8	1.7	2.9	▲ 1.6	0.0	0.9	2.2	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 2.2

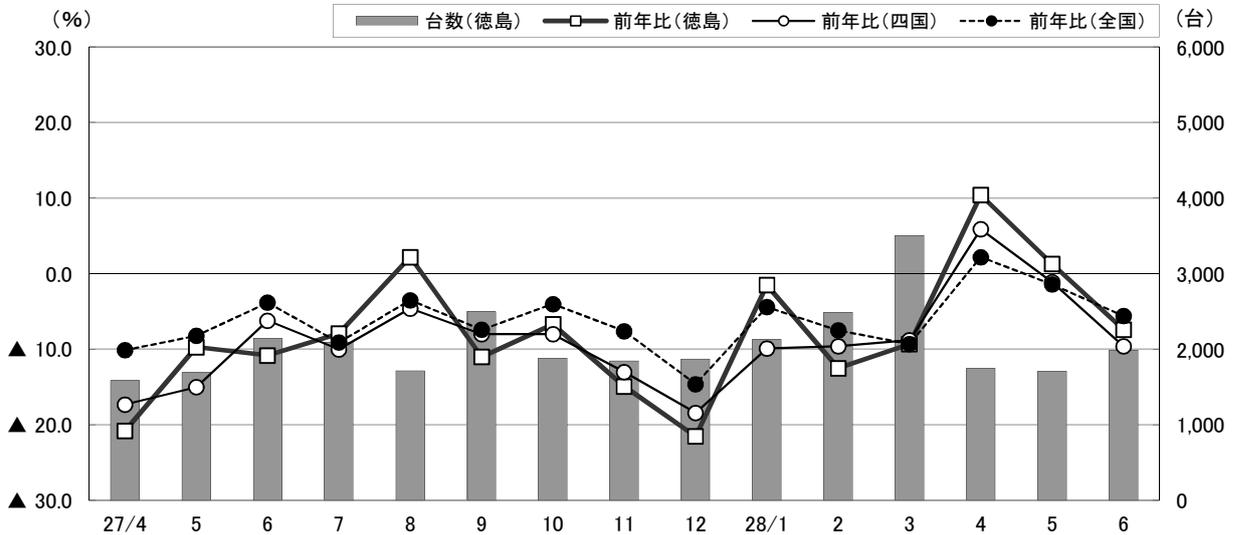
★ 商品別販売額前年同月比（全店ベース、徳島）



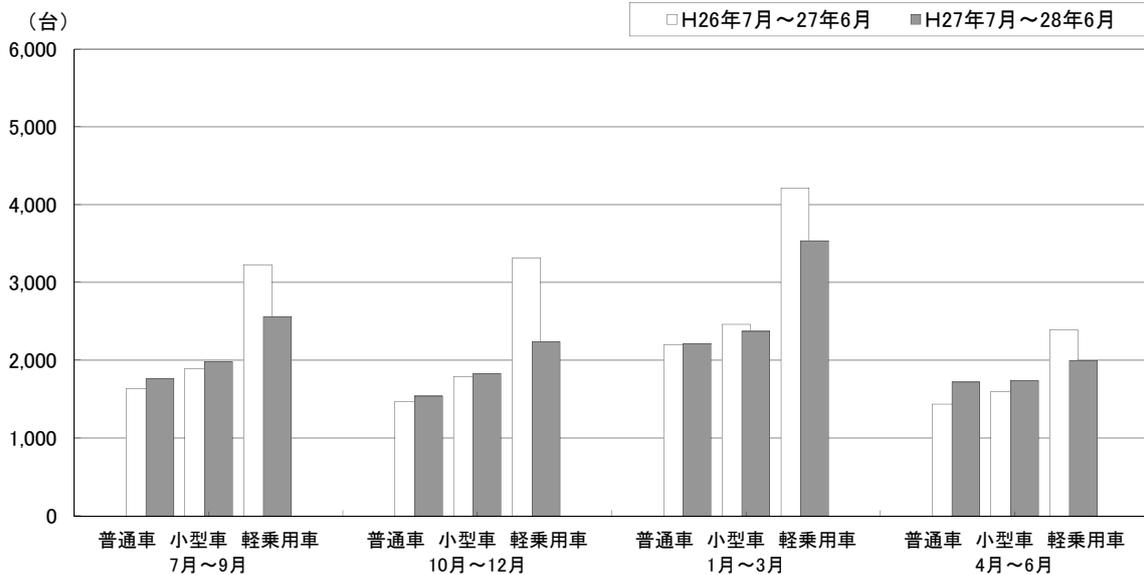
[資料：経済産業省(全国)、四国経済産業局(徳島、四国)]

- (2) コンビニエンスストアは、気温の上昇に伴い飲料やカウンターコーヒーに動きがみられるほか、品揃えが充実したチルド弁当にも動きがみられる。また、アイスクリームなどの季節商品にも動きがみられる。
- (3) 乗用車販売台数は、軽自動車で前年を下回っているものの、普通車、小型車で前年を上回っており、全体では前年並みとなっている。

★乗用車(新車)販売台数



★車種別販売台数(徳島)



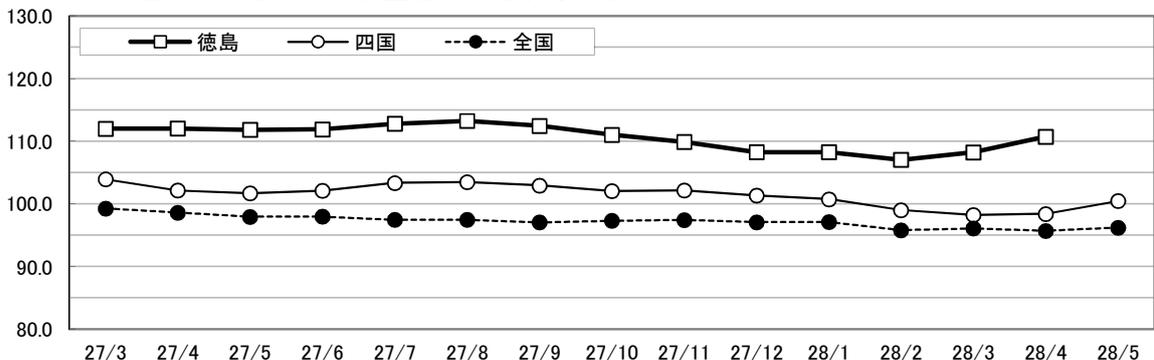
[資料:四国運輸局ほか]

- (4) 家電販売は、気温の上昇に伴いエアコンや冷蔵庫に動きがみられるほか、デジタルカメラや引き続き4Kテレビにも動きがみられる。
- (5) ホームセンターは、気温の上昇に伴い園芸資材や殺虫剤などの家庭用品や、防災用品、建材に動きがみられるほか、扇風機等の季節商品にも動きがみられる。
- (6) 主要観光地の入り込み状況は、イベント効果などがあった一方で、連休の日並びが前年に比べて悪かったこともあり、全体としてはおおむね前年並みとなっている。
- (7) 旅行は、国内旅行、海外旅行ともに弱さがみられる。

生産活動 緩やかに持ち直しつつある

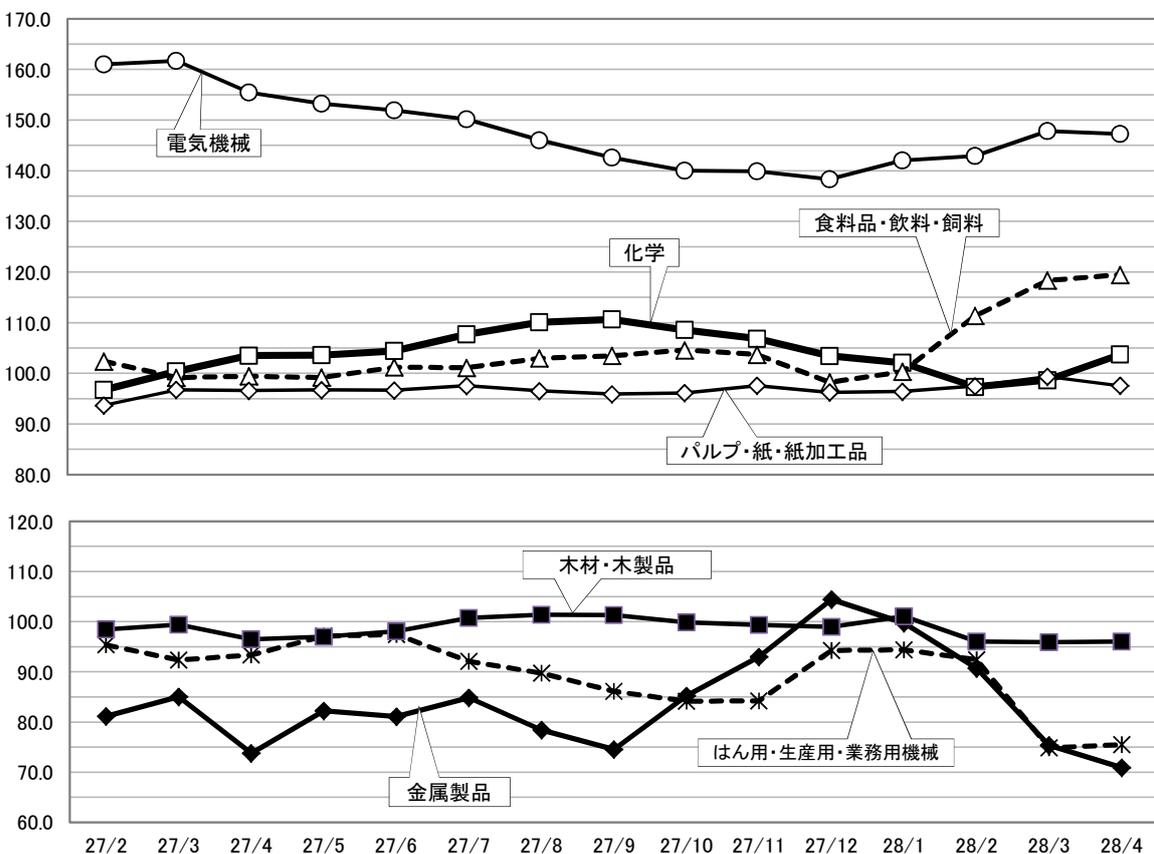
- ・食料品・飲料・飼料は、持ち直しているほか、化学や電気機械も、持ち直しつつある。
- ・はん用・生産用・業務用機械は、一部海外需要が低調となっているほか、金属製品は、生産を調整していることから、弱い動きとなっている。また、木材・木製品も、消費税増税延期に伴う駆け込み需要の減少により足下では弱さがみられる。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、おおむね横ばいの動きとなっている。

★鉱工業生産指数の推移(季節調整値、3ヵ月移動平均) (平成22年=100)



	27/1 }	27/2 }	27/3 }	27/4 }	27/5 }	27/6 }	27/7 }	27/8 }	27/9 }	27/10 }	27/11 }	27/12 }	28/1 }	28/2 }	28/3 }
徳島	112.0	112.0	111.8	111.9	112.8	113.2	112.5	111.0	109.9	108.3	108.3	107.0	108.2	110.7	
四国	103.9	102.1	101.7	102.1	103.3	103.5	102.9	102.0	102.1	101.3	100.7	99.0	98.2	98.4	100.5
全国	99.3	98.6	97.9	98.0	97.5	97.5	97.0	97.3	97.4	97.1	97.1	95.8	96.1	95.7	96.2

★徳島県鉱工業生産指数(業種別)の推移(季節調整値、3ヵ月移動平均) (平成22年=100)

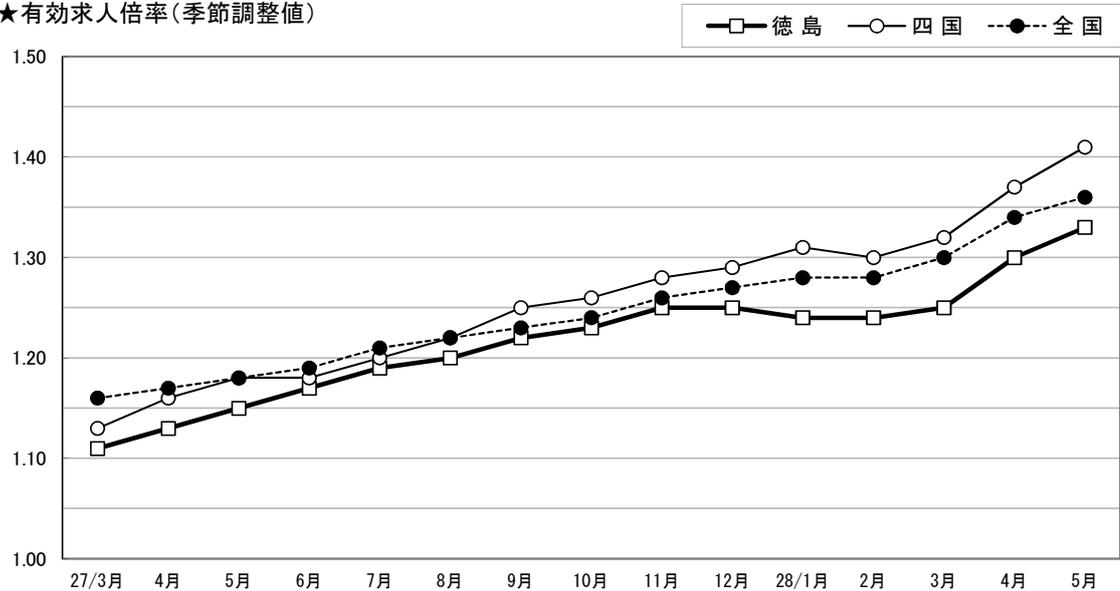


[資料: 経済産業省・四国経済産業局・徳島県統計戦略課]

雇用情勢 緩やかに改善している

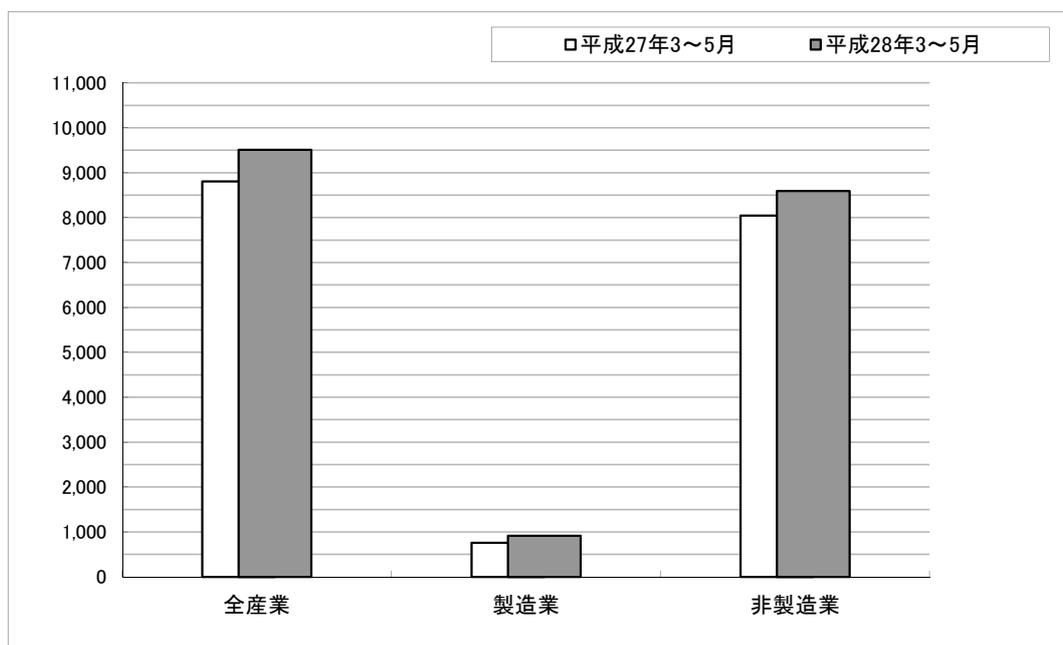
- ・有効求人倍率は、上昇しており高水準となっている。
- ・新規求人数(パート除く)をみると、製造業、非製造業、全産業とも前年を上回っている。

★有効求人倍率(季節調整値)



	27/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	1.11	1.13	1.15	1.17	1.19	1.20	1.22	1.23	1.25	1.25	1.24	1.24	1.25	1.30	1.33
四国	1.13	1.16	1.18	1.18	1.20	1.22	1.25	1.26	1.28	1.29	1.31	1.30	1.32	1.37	1.41
全国	1.16	1.17	1.18	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36

★新規求人数(パート除く)(徳島:3~5月、単位:人)

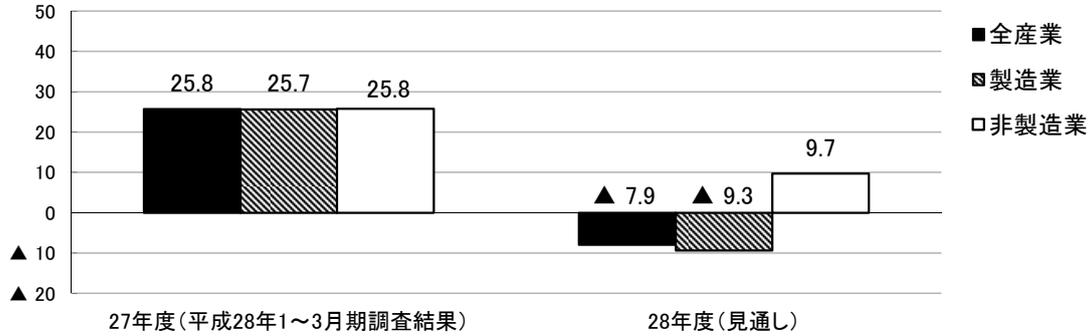


[資料:厚生労働省・徳島労働局]

設備投資 28年度は前年度を下回る見通し

・法人企業景気予測調査結果でみると、非製造業で増加しているものの、製造業で減少しており、全産業では前年度を下回る見通しとなっている。

★法人企業景気予測調査(徳島) 平成28年4～6月期調査(前年度比、%)

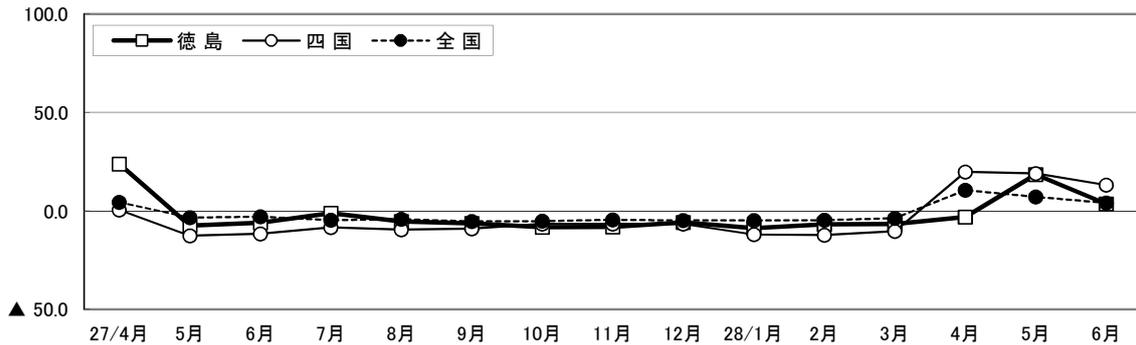


公共事業 前年度を上回っている

・前払金保証請負金額(累計)でみると、県、市町村で前年度を下回っているものの、国、独立行政法人等で前年度を上回っており、全体でも前年度を上回っている。

★請負金額累計

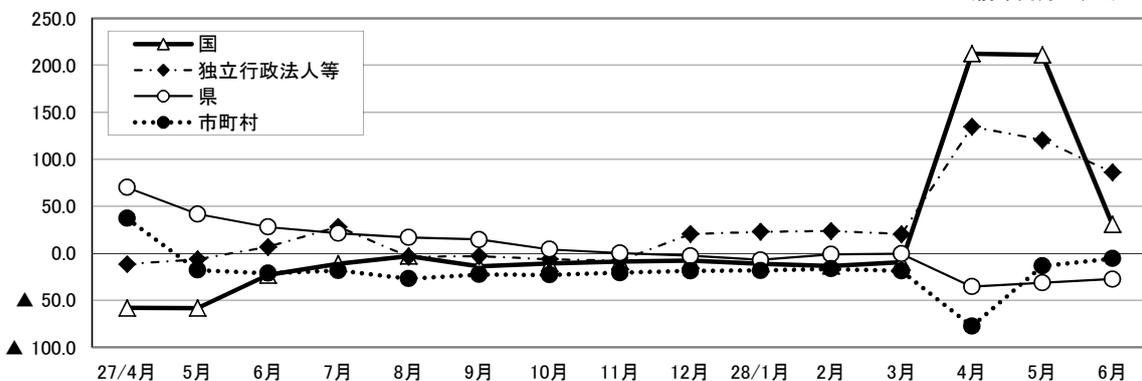
(前年同月比、%)



	27/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	23.9	▲7.4	▲6.0	▲1.1	▲5.4	▲6.3	▲8.2	▲8.1	▲5.9	▲8.7	▲6.8	▲6.6	▲3.0	18.5	3.6
四国	0.5	▲12.6	▲11.6	▲8.4	▲9.6	▲9.1	▲6.6	▲6.7	▲6.7	▲12.0	▲12.3	▲10.4	19.8	19.0	13.1
全国	4.4	▲3.4	▲2.9	▲4.7	▲4.2	▲5.3	▲5.2	▲4.6	▲4.9	▲4.8	▲4.7	▲3.8	10.6	7.1	4.0

★発注者別請負金額累計(徳島)

(前年同月比、%)



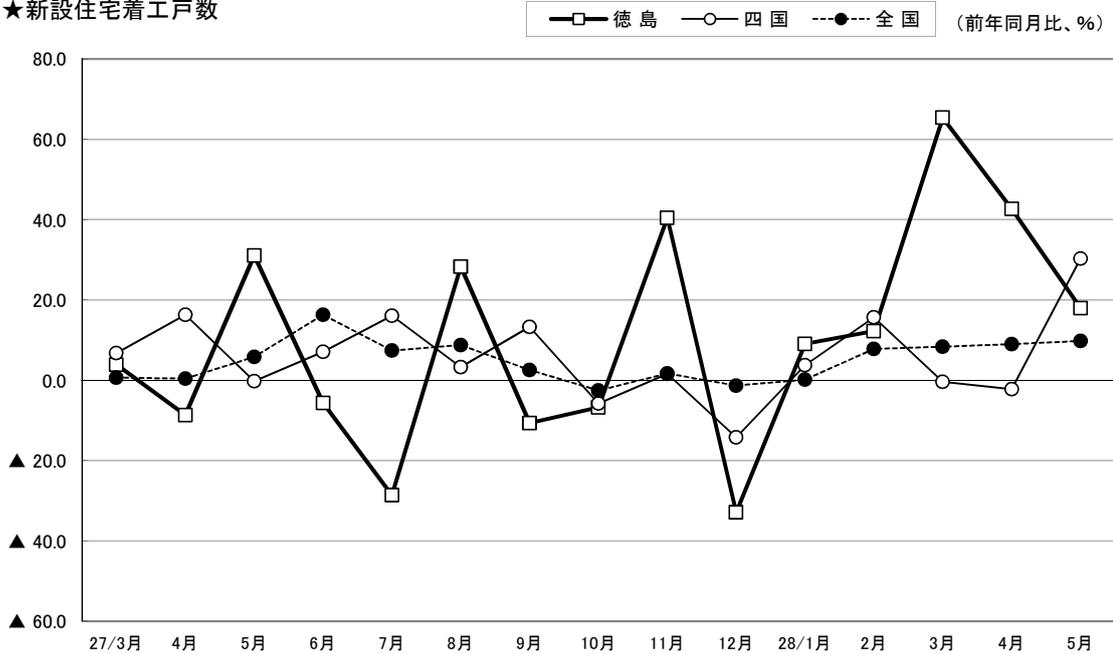
	27/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	▲58.0	▲58.3	▲23.1	▲10.9	▲2.9	▲13.8	▲10.8	▲8.6	▲7.6	▲11.0	▲13.3	▲9.2	212.5	211.0	30.7
独立行政法人等	▲11.5	▲6.2	6.8	28.2	▲3.6	▲2.9	▲6.3	▲7.6	20.6	22.9	23.8	20.4	134.6	120.6	86.1
県	70.1	41.8	28.0	21.3	16.9	14.6	4.3	0.3	▲2.7	▲7.1	▲1.1	▲0.4	▲35.5	▲31.3	▲27.5
市町村	37.1	▲17.9	▲21.3	▲18.3	▲26.9	▲22.5	▲22.9	▲20.7	▲18.6	▲18.3	▲16.4	▲18.9	▲77.6	▲13.3	▲5.6

[資料:西日本建設業保証株式会社ほか]

住宅建設 前年を上回っている

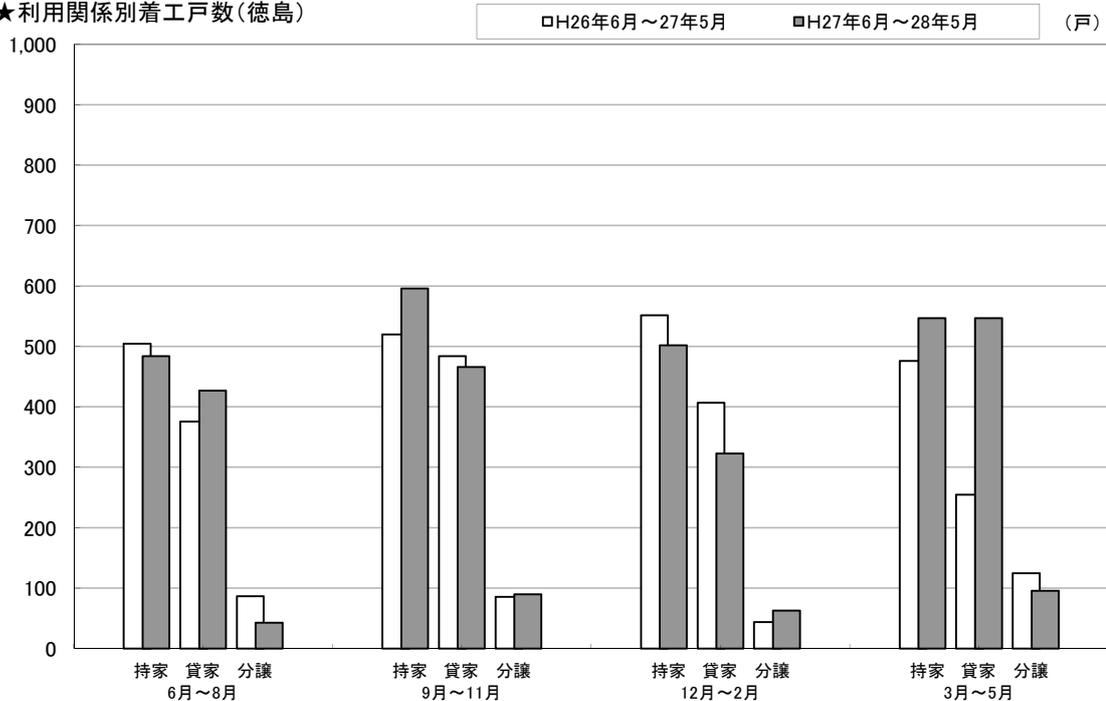
・新設住宅着工戸数でみると、分譲で減少しているものの、持家、貸家住宅で増加しており、全体で前年を上回っている。

★新設住宅着工戸数



	27/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	3.9	▲8.6	31.1	▲5.6	▲28.6	28.3	▲10.6	▲6.7	40.5	▲32.9	9.1	12.3	65.4	42.7	18.0
四国	6.8	16.3	▲0.2	7.1	16.1	3.3	13.3	▲5.8	1.6	▲14.2	3.8	15.7	▲0.4	▲2.2	30.3
全国	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	▲2.5	1.7	▲1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8

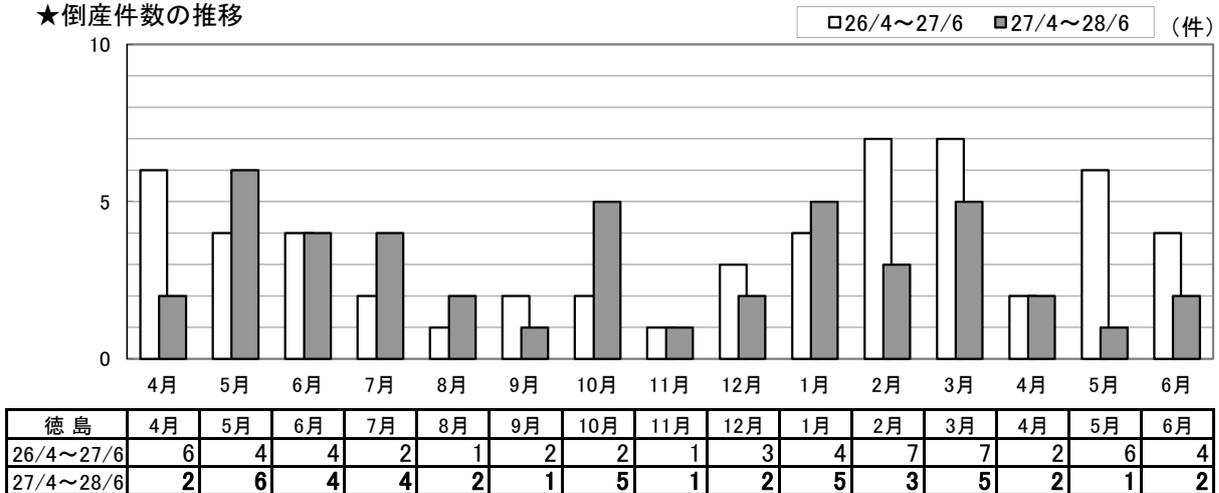
★利用関係別着工戸数(徳島)



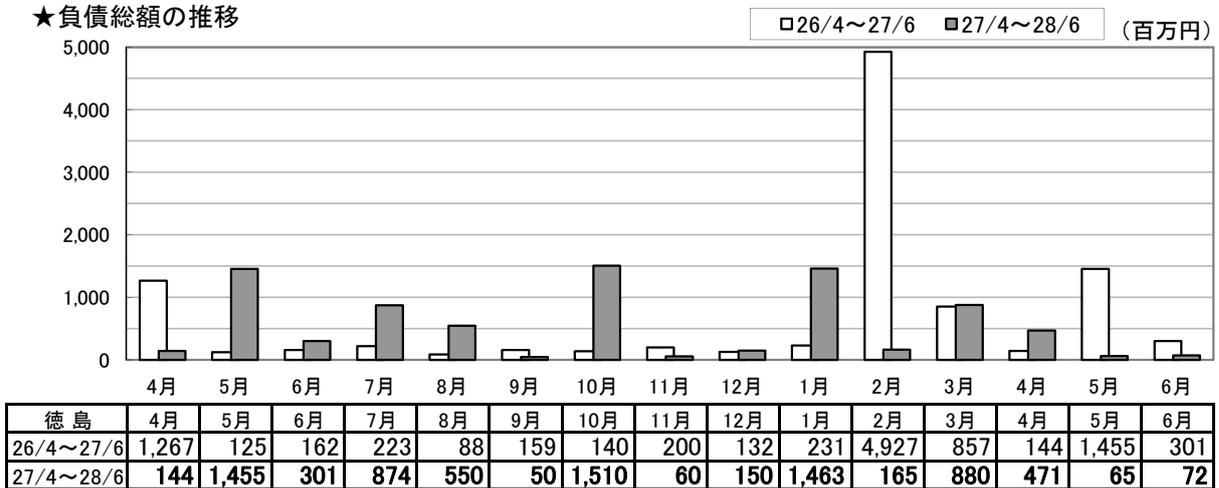
[資料:国土交通省]

企業倒産 件数、負債総額ともに前年を下回っている

★倒産件数の推移



★負債総額の推移

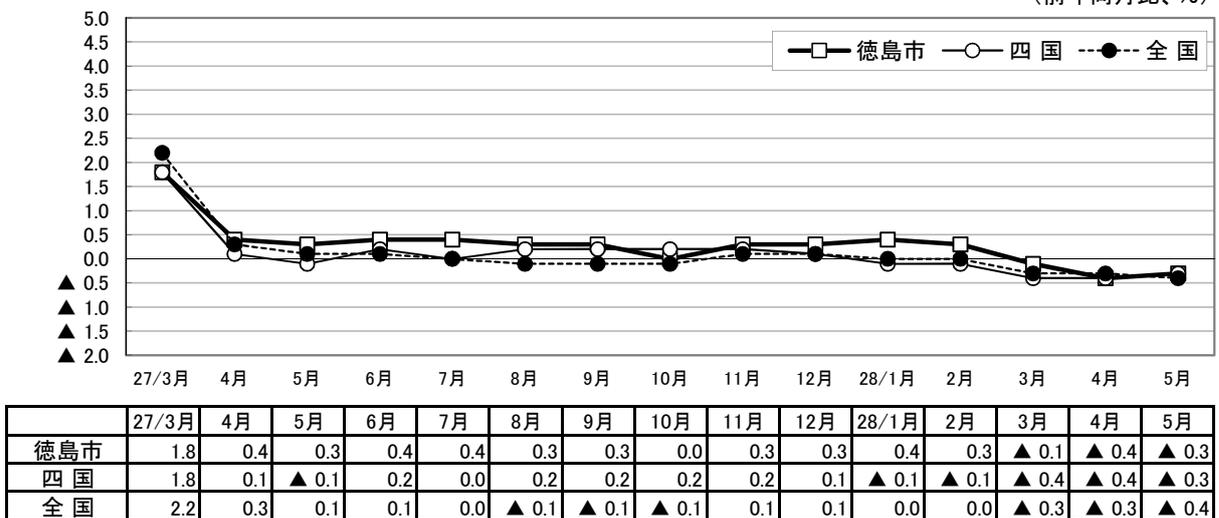


[資料:株式会社 東京商工リサーチ]

消費者物価 前年を下回っている

★消費者物価指数(生鮮食品を除く総合:平成22年=100)

(前年同月比、%)



[資料:総務省統計局]

県内地域経済に関する生の声

個人消費

○円高の進行、株価の下落など、直接影響は無いが消費者の消費マインドに良くない影響を与えているのかもしれない。また、価格競争により再び低価格志向に戻りつつあると考えている。【百貨店・スーパー】

○30代の若い世帯、ファミリーの来店が少なくなっている気がする。景気が良くなったといっても、実際はお金が無かったり、将来不安から、これら世代が節約志向に走っているのではないか。【百貨店・スーパー】

○外国人観光客が順調に増えており、台湾、香港などアジア圏からの個人旅行、団体旅行ともに増加している。【観光地】

生産活動

○性能向上、生産自動化、生産省力化目的での引き合いが主となっている。【はん用・生産用・業務用機械】

○普通車用需要は例年並みに戻りつつあるが、軽自動車税の増税以降、軽自動車用需要は低迷したままである。【金属製品】

○消費税引き上げ延期を受け、増税前の駆け込み需要が期待できなくなり、先行きは不透明。今年度中は生産調整期間に入ると思われる。【木材・木製品】

雇用情勢

○有効求人倍率は1倍台で推移しており、雇用失業情勢は、引き続き改善している。【労働局】

○企業はハローワークに募集をかけても人が集まらないため、派遣会社へ依頼するという流れが引き続き増えており、幅広い業種から需要があるものの、派遣可能な人材が少ない状況が続いている。【職業紹介・労働者派遣業】



●お問い合わせは

TEL (088)622-5181

総務課(内線201) 又は

FAX (088)654-9030

財務課(内線210) へ

徳島財務事務所

<http://shikoku.mof.go.jp/tokushima/index.html>



※PCサイトは携帯専用ではないため、接続の際、表示に時間がかかったり、
パケット通信料が高額になる可能性がありますので、ご了承ください。